

宝塚市政記者クラブ各位

細川貂々さんと考える
生きづらさを感じている人のための
「当事者研究入門」を開催します！

自分の苦勞の意味やメカニズムを、仲間と話し合い、考える「当事者研究」。

宝塚市大使の漫画家・細川貂々さんと、まず一度体験して、生きづらさと付き合うコツを探りませんか。どなたでも参加できます。

1 日時 令和元年(2019年)9月16日(月・祝)
14時30分～16時00分

2 場所 宝塚市立中央図書館 2階 集会室
宝塚市清荒神1丁目2-18
(阪急宝塚線「清荒神」駅前)

3 内容

前半 細川貂々さんと一ノ瀬かおるさんの対談「当事者研究ってなに？」

後半 当事者研究をみんなで体験してみよう！

一ノ瀬かおる 少女漫画家。NPOそーねメンバーとして当事者研究活動に携わり、関西当事者研究交流集会実行委員を務める。近著に『まんがでおまいり 西本願寺の発見』『伯爵と肖像画の花嫁』など。

細川貂々 漫画家。宝塚市在住。宝塚市大使。宝塚(歌劇)が好きすぎて宝塚市に引っ越してきた。『ツレがうつになりまして。』『タカラヅカ夢の時間紀行』『異教の隣人』ほか著書多数。



4 対象 どなたでも

5 参加費等 無料（申込不要、当日直接会場へ）

6 定員 50名程度（先着順）

7 問い合わせ 宝塚市立中央図書館
電話：0797-84-6121 / FAX：0797-81-0598
担当：田野、平井、粟井

● 当事者研究とは

「当事者研究」は、北海道浦河町における「べてるの家」をはじめとする起業をベースとした統合失調症などがかかえた当事者活動や暮らしの中から生まれ育ってきたエンパワメント・アプローチであり、当事者の生活経験の蓄積から生まれた自助－自分を助け、励まし、活かす－と自治（自己治療・自己統治）のツールである。

当事者研究では、当事者がかかえる固有の生きづらさ－見極めや対処が難しいさまざまな圧迫感（幻覚や妄想を含む）、不快なできごとや感覚（臭いや味、まわりの発する音や声など）、その他の身体の不調や症状、薬との付き合い方などの他、家族・仲間・職場における人間関係にかかわる苦労、日常生活とかかわりの深い制度やサービスの活用レベルまで、そこから生じるジレンマや葛藤を、自分の“大切な苦労”と捉えるところに特徴がある。そして、その中から生きやすさに向けた「研究テーマ」を見出し、その出来事や経験の背景にある前向きな意味や可能性、パターン等を見極め、仲間や関係者の経験も取り入れながら、自分らしいユニークな発想で、その人に合った“自助－自分の助け方”や理解を創造していくプロセスを重んじる。

～ 当事者研究とは －当事者研究の理念と構成－ ～
向谷地生良（むかいやち いくよし）
（北海道医療大学、浦河べてるの家）
より